

富士フイルムビジネスイノベーション、 NTT データとお客様の業務効率化を強かに推進

ドキュメントハンドリング・ソフトウェア「DocuWorks」 と RPA ツール「WinActor」を連携し 定型業務を効率化

2021年5月27日

富士フイルムビジネスイノベーション株式会社（本社:東京都港区、社長・CEO:真茅 久則）は、帳票管理などの定型業務を効率化する「DocuWorks 自動化パッケージ (WinActor)」の提供を開始しました。

「DocuWorks 自動化パッケージ (WinActor)」は、当社が提供するドキュメントハンドリング・ソフトウェア「DocuWorks(ドキュワークス)^{※1}」と法人向けクラウドストレージサービス「Working Folder^{※2}」に、株式会社エヌ・ティ・ティ・データ（本社:東京都江東区、社長: 本間 洋、以下「NTT データ」）が提供する RPA^{※3} ツール「WinActor[®]※4」をパッケージ化し、月額サービスとして提供するものです。

- ※1 DocuWorks : 国内外販売累計 777 万ライセンスを誇るドキュメントハンドリング・ソフトウェア。文書作成、文書の束ね・ばらし・書き込み・付箋などの編集、文書への属性やセキュリティー付与などが行えます
- ※2 Working Folder : 文書管理・共有のクラウドサービス。強力なセキュリティーを特徴としており、社外への文書共有や外出先・自宅からの文書へのアクセスを、安心・安全におこなうことができます。
- ※3 「RPA」とは「Robotic Process Automation」の略で、パソコン上で行われる業務や作業を人に代わり自動化する技術。この業務や作業を自動化するソフトウェアを「ロボット」と呼びます。
- ※4 業務効率の向上を支援する国内シェアトップの RPA ツール。「WinActor[®]」は日本国内における NTT アドバンステクノロジー株式会社の登録商標です。

昨今、国内では少子高齢化が進み労働人口が減少する中、企業では限られた労働力を有効に活用し生産性を向上させるために、業務の効率化が課題となっています。その課題を解決する手段のひとつとして、RPA ツールを導入する企業が増えています。一方で RPA ツールを導入する際には、その RPA ツールを機能させるためのロボットの作成が必要であり、また、RPA ツール導入後も、自動化した業務プロセスに変更が生じた場合は、ロボットの改修が必要となることから、IT 担当者への負担も課題となっています。

「DocuWorks 自動化パッケージ (WinActor)」は、「DocuWorks」が持つ属性付与や文書の編集機能と「Working Folder」への文書格納を、「WinActor」を使って作成したロボットにより自動化します。

例えば、帳票を管理する業務では（[図1参照](#)）、見積書などの紙の帳票を複合機でスキャン後、DocuWorks 文書に変換したスキャンデータを「WinActor」を使って作成したロボットが、その後の検索を容易にするための日付やファイル名などの属性を自動的に付与し、クラウド上の指定したフォルダ（Working Folder）へ格納することで、社外から簡単に閲覧できるようになるなど、お客様の業務効率化を強かに推進します。

また当社では、RPAに適する5つの定型業務（帳票管理業務等）において、お客様が導入済みの各種システム（クラウド型データベースアプリ「kintone®」等）※5とすぐに連携できる（図2参照）ロボットを「WinActor」を使ってあらかじめ作成しており、セットアップも支援※6します。これによりRPAツール導入時のお客様によるロボット作成が不要となります。さらにそのロボットはExcel※7を使って設定を変更できるため※8、RPAツール導入後に業務プロセスが変更になった場合のロボット改修が簡単に行えます。

今後も富士フイルムビジネスイノベーションは、NTTデータと共にソフトウェアパッケージおよびサービスを提供するパートナーとの連携をさらに強化することで、お客様の業務プロセス効率化を促進し、DX(デジタル・トランスフォーメーション)を押し進めてまいります。

図1：帳票管理業務の一例

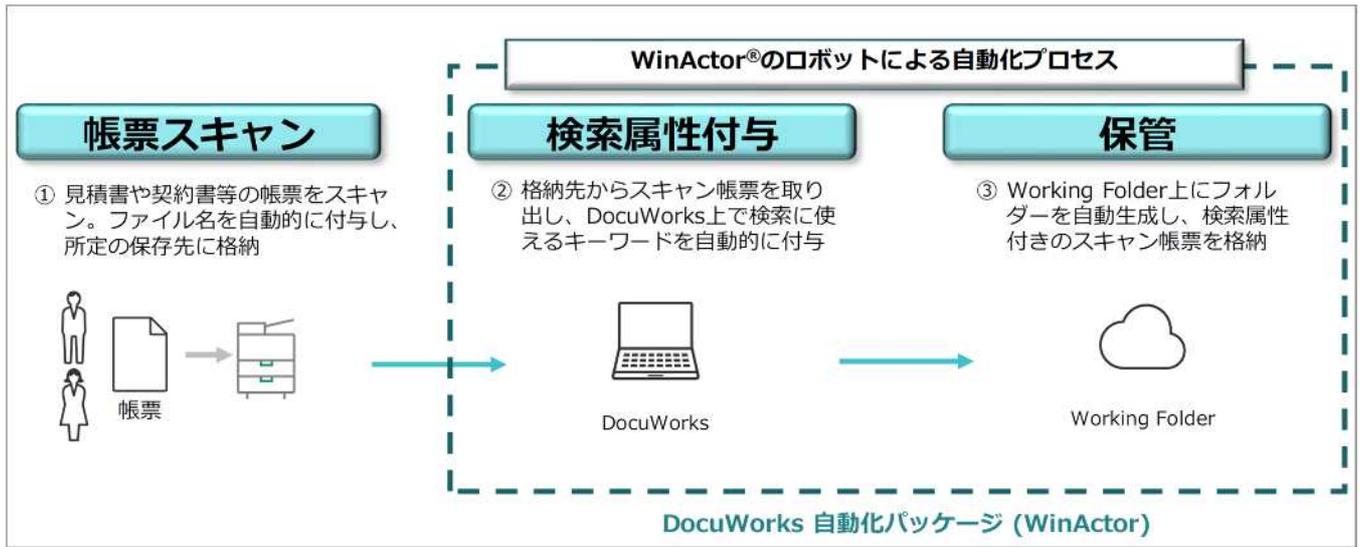
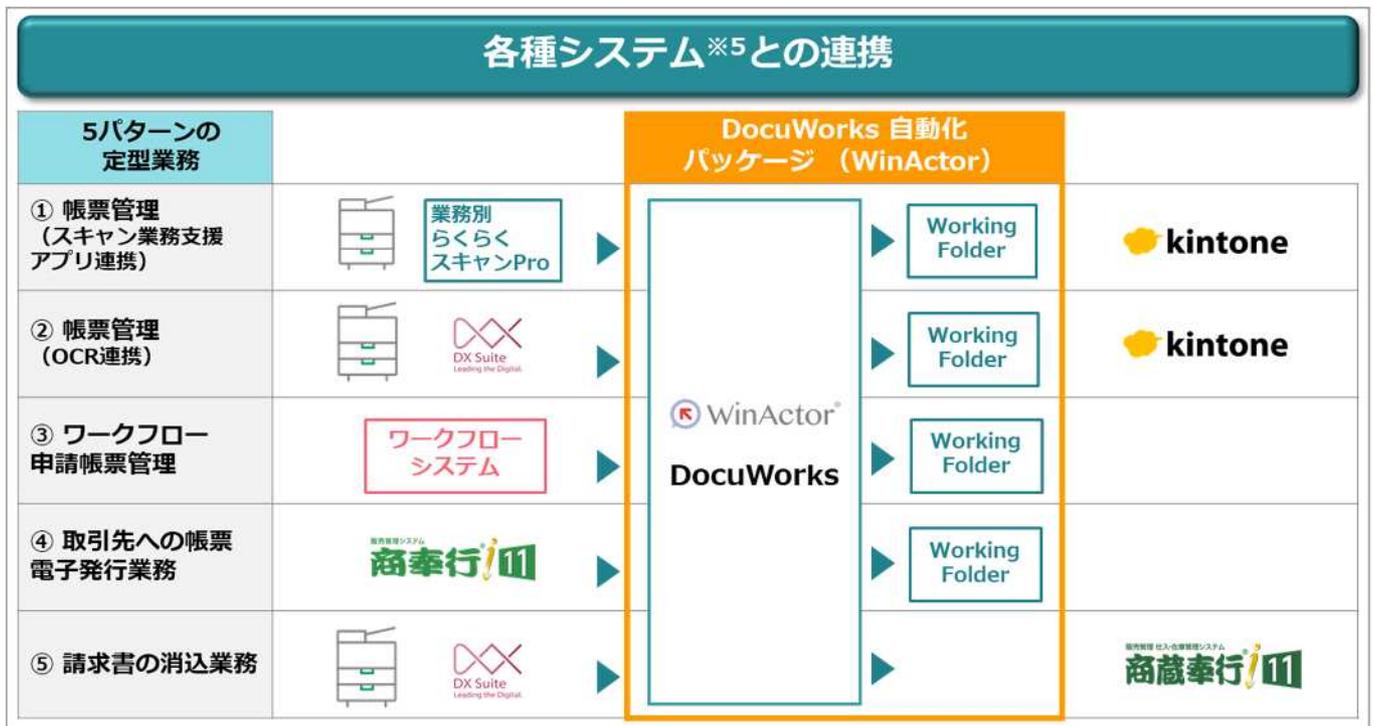


図2：5パターンの定型業務別、各種システム連携業務フローイメージ



※5 各種システム：2021年5月27日時点で以下のシステムとすぐに連携可能なロボットを作成済み

- 富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の「[業務別らくらくスキャン Pro](#)」※9
(複合機・プリンター追加型スキャン業務支援アプリケーション)
- サイボウズ株式会社の「kintone®」(クラウド型データベースアプリ) ※10
- 株式会社オービックビジネスコンサルタントの「商奉行®」、「商蔵奉行®」(基幹業務パッケージ) ※11
- AI inside 株式会社の「DX Suite」(AI OCR サービス) ※12

※6 当社マルチベンダーサービスの「セットアップ支援サービス(DocuWorks 自動化パッケージ対応)」

※7 Excel は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※8 特許出願中：特願 2020-163845 号 2021年4月時点

※9 「業務別らくらくスキャン Pro」は、文書の種類を選択するだけで、あらかじめ設定されたルール通りにファイル名をつけて所定の保存先に直接スキャン文書を格納する、複合機にインストールして利用する有償アプリケーションです。

※10 「kintone」は、サイボウズ株式会社の登録商標です。

※11 「商奉行」「商蔵奉行」は、株式会社オービックビジネスコンサルタントの登録商標または商標です。

※12 「DX Suite」は、AI inside 株式会社の登録商標です。

<提供価格>

月額：69,800円(税別)～

DocuWorks 自動化パッケージ (WinActor)には、「WinActor 実行版」「DocuWorks サブスクリプション Suite」「Working Folder 基本サービス」「当社コンタクトセンターによるサポート」が含まれています。連携する各種システム※5 費用は含まれておりません。

富士フイルムビジネスイノベーションについて

デジタル複合機をはじめとしたオフィス機器、プロダクションプリンターや、ITソリューションの研究・開発・生産・販売、および業務プロセスのアウトソーシングサービスを提供しています。1962年に富士ゼロックスとして創業以来培ってきた技術や知見をもとに、働く人々がより創造力を発揮し、組織の力を最大化できる情報や知識の活用環境を構築しています。

2021年4月1日、「ビジネスに革新をもたらす存在であり続ける」との決意のもと、社名を富士ゼロックス株式会社から富士フイルムビジネスイノベーション株式会社に変更しました。

<https://fujifilm.com/fb>

・プレスリリースに掲載されているサービス、商品名等は各社の登録商標または商標です。

本件に関する報道関係からのお問い合わせは、下記にお願いいたします。

富士フイルムホールディングス(株) コーポレートコミュニケーション部 広報グループ

Tel: 03-6271-5120